



主体性と 多様性

校長 堤 敏博



第27代目の校長として、この度、着任致しました堤敏博と申します。佐世保南高校のために一生懸命がんばりますので、よろしくお願いたします。以下、4月8日の始業式でお話いたしました内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

『この激動の社会で生き抜くためにはどのようなことが重要なのでしょうか。そのキーワードは「主体性」と「多様性」だと思います。』

まず「主体性」についてです。自分の意志で行動することを表す言葉の中に「自主性」と「主体性」があります。その二つの意味の違いを一言で表すならば、やるべき目的が決まっている、人にいわれなくても行動を起こすことが「自主性」で、やるべき目的が決まっていない状態で、自分で考え行動を起こすことが「主体性」です。勉強を例にすると「日頃から勉強は大事だと先生から言われているから進んで勉強に取り組もう」と考え行動に移すことが自主性で、「自分は、将来、佐世保の活性化のために何かをしたい。そのためには、多くの知識を得ることで視野が広がり、多くの発想が生まれるかもしれない。そのために勉強は必要だ」と考え行動に移すのが主体性と言えるかもしれません。このように考えると、自主性より主体性のほうが、身につけるのが難しいと思います。

そして、この主体性を身につけるためには、とにかくミスや失敗を恐れることなく何事にもチャレンジしていく姿勢を持つことが大切です。最初は誰かのまねでも問題はありません。例えば「守破離」という言葉があります。徹底的に師匠の教えを守り師匠の型を自分のものにする。その後、自分に合った型を作ることで師匠の型を破り、そして、既存の型にとらわれることなく型から離れ、新しい流派が生まれていくのです。師匠のまねをして師匠の型を身につけることから始め、自分の型を作り変え新しい流派を作っていくという主体性に結びついていくと思います。だから、先生方から教えてもらうことを大切にしたいと思っています。

次に、「多様性」についてです。「働きアリの法則」があり、働きアリというぐらだからみんな働いていると思ったらそうでもないらしいです。例えば、100匹働きアリがいたとしたら、20匹は積極的に働き、60匹は普通に働き、残りの20匹は全く働かないそうです。では、働かない20匹を排除して、80匹にしたら、その2割である16匹は、全く働かなくなるそうです。研究によると、働かないアリは代替要員で、働くアリが疲れて働くことができなくなったとき代わりに働いてくれるそうです。ちなみに、働かないアリだけを集めても、その中から一生懸命働くアリが2割出てきて、同じ割合になるそうです。一生懸命働いているアリが、働かないアリに対して文句を言うでもなく、ある意味、バランスが取れているのかもしれない。仮に、全部が一生懸命働くアリばかりだと、短期間でその集団は滅びてしまうそうです。アリの集団と同じで、人間の組織にも、多様な価値基準をもち、多様な人々が、お互いを認め合うことが重要だと思います。いろいろな考えを持っている人がいて、それぞれを認め合い高め合うことが「多様性」なのです。

ある新聞記事によると「多様性とは、他者との共存を受け入れるといういわば利他的な概念」であり「利他的とは利己的に反する言葉で、人間の心の中にある他人のために他人を思いやる気持ちのこと」「自ら学ぼうとしないと利他性には気づかない」「何も知らないままでは他者の立場を考えられない」「山に登ると遠くまで見渡せるように、勉強すれば人の視野は広がる」などのことが書いてありました。

やはり、「主体性」についても「多様性」についても、多くの知識を得ること、理解力を高めることが重要であり、毎日の授業や家庭学習が大事なのです。』

以上のような話をさせて頂きました。県下有数の伝統校である佐世保南高校に赴任し、身が引きしまる思いであります。教職員一同 新たな気持ちで佐世保南高校の生徒の指導に邁進致します。今後ともよろしくお願致します。

第75回入学式

令和2年4月8日(水)、第75回入学式が挙行されました。堤敏博校長より入学を許可され、223名の新入生が晴れて佐世保南高等学校の一員となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生と保護者、職員だけの入学式となりましたが、堤校長は新入生に向けて「何をなすために佐世保南高校に入学したのか、今一度考え、熱い思いを胸に高校生活を送って欲しい。」との激励を送りました。

校長先生から入学証書を受け取る新入生代表

Webにより詳しい記事を書いております。右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



学年主任から メッセージ

第一学年主任
福田 智明 先生

入学式から数週間が経ちました。今年度は例年と違い困難な状況の中でのスタートとなりました。このような状況だからこそ私達一人ひとりが行動に責任を持ち、よく考えて行動していかなければならないのだと思います。今後皆さんには様々な壁が立ちふさがるでしょう。しかし、壁は乗り越えられる者のみ与えられるといえます。また、乗り越えた壁は必ず皆さんを守る盾になってくれるはずです。いろんなことにチャレンジし、失敗から学び、成功から達成感を味わい、自分を磨きながら一歩一歩成長していきましょう。

第三学年主任
東 彦一郎 先生

私は、自宅の庭で「芝生」を養生しています。庭一面がきれいな緑色に覆われ、その上で子どもとサッカーボールを蹴ることを目標に、毎日欠かさず、水や肥料を与えたり、雑草や枯れた芝生を取り除いたり、手入れをしています。これだけすれば、順調に育つように思うかもしれませんが、現状は違います。土壌を整え、気温が適温に上がって来なければ、水や肥料だけでは、うまく伸びていかないのです。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、昨年度はあのような終わり方をし、今年度が始まりました。今年度は、以前からの報道のとおり、大学入試改革が行われ、センター試験から「共通テスト」へと移行します。このことはこのような状況でも変わらないことです。この状況で、皆さんが伸びていくためには、水や肥料(授業や課題)だけでなく、土壌(学習環境)を整え、雑草や枯れ草(スマホなど)を取り除き、気温(学習へ向かう気持ち)を適温に上げて、毎日コツコツ頑張って、夢を叶えましょう。来年は今年よりも温かい春を迎えられるように。

第二学年主任
本山 菜美子 先生

意気揚々と2年生をスタートさせているはずの春、コロナ禍により新学期も二週間足らずで休校となってしまいました。家庭で過ごす長い一人の時間を、何を考えて過ごしていましたか? 自分自身の将来のこと、そして世界の未来のこと。まさにSDGs的‘当事者’の観点で、深く思索に耽ったのではないのでしょうか。ぜひ、この期間に考えたことを、言葉にして残しましょう。(“サザンクロス”P75に記録しよう)

- ① 各国の、日本の、そして地元長崎の対応
- ② コロナ禍を通じて明るみに出た身近な問題
- ③ 医療従事者はじめ、沈静化に向け尽力する人々の活躍
- ④ 今の自分が出来ること
- ⑤ 未来の自分がすべきこと

ただ思うことは、良い経験も辛い経験も、すべて強く生きる力に変えて欲しいということです。コロナが去って、再び大きな困難が訪れたとしても、決してやられっぱなしで終わらない、力と知恵を身につけよう。我らが南高「自強自律・和敬礼節」の精神で!

令和2年度 新転任者紹介

本年度も16名の新しい先生方にお世話になることになりました。よろしくお願いします。

○堤 敏博（数学・校長）先生

この度の異動で、五島高校から赴任して参りました。出身は平戸ですが、41年前に、この佐世保南高校に入学し、3年後に卒業しました。我が母校で勤務することができ光栄に思っています。生徒の皆さんをはじめ、保護者の方々や地域の皆様とともに南高の更なる発展のため頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

○高比良 裕（生物・教頭）先生

12年ぶりの佐世保南です。やっと戻ってくることができたという思いもあるのですが、過去の思い出よりも、現在の南高生の皆さんや先生方との出会いへのワクワク感の方が強いというのが今の気持ちです。新たな南高と一緒につくっていきましょう！

○益田 義史（英語・1年）先生

大村高校から赴任して参りました。大村出身です。佐世保は大好きな祖母がいた、素敵な思い出がいっぱいの街。いつかその街で勤めたいという望みが叶い、とてもわくわくしています。この時代を生き抜くためのコミュニケーション能力と論理的思考力を育むお手伝いを精一杯させていただきます。

○碓井 真理（保健体育・3年）先生

この度、佐世保中央高校昼間部より赴任してまいりました。皆さんの爽やかな挨拶や熱心な部活動、学習にも真摯に取り組む姿勢に、佐世保南高校の伝統を感じています。文武両道の南高の力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

○重松 真知子（公民・1年）先生

前任校は長崎東中学校です。佐世保で生活するのは初めてです。当たり前のことですが、8日の始業式で顔を上げ、話されている方を見つめる姿が良かったです。おかげで新生活の不安が減りました。こういう関係性を大事にしたいと思います。よろしくお願いします。

○坂本 麻梨子（国語・3年）先生

長崎西高校から赴任してまいりました。3年生の国語を担当します。故郷の佐世保に久しぶりに帰ってくることができて、とても嬉しいです。佐世保南高校の一員として、様々な経験ができることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

○吉野 聖司（数学・3年）先生

上五島高校から赴任してまいりました。佐世保南高校には部活動の練習試合などでよく訪れており、生徒の皆さんが元気で活気のある学校だなと思っておりました。これからの生活が楽しみで、今とてもワクワクしています。

○藤松 謙之介（日本史・3年）先生

この度の異動で、五島高校より赴任してまいりました。教科は地歴公民（日本史）です。出身は佐世保です。日本史が楽しいと思えるような授業を南高生の皆さんと作っていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○納富 大志（数学・2年）先生

この度、島原翔南高校から異動してきました。歴史と伝統のある佐世保南高校で勤務できることを嬉しく思うと同時に、生徒の皆さんや先生方の姿を見て身の引き締まる思いです。南高のために一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

○喜々津 梨奈（世界史・2年）先生

この度、新規採用教員として佐世保南高校に赴任することになりました。長崎市出身で、担当は世界史です。みなさんと一緒に、いろんなことを学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

○山佐 菜月（家庭科・1年）先生

新規採用として赴任することになりました。家庭科を担当します。毎日元気に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

○酒井 英忠（化学・2年）先生

この度の異動で清峰高校より赴任してまいりました。栃木県出身、長崎県での生活は4年目となりました。皆様と共に日々学びながら成長していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

○丸木 佑一郎（国語・3年）先生

壱岐高校から参りました。出身は佐世保市です。久しぶりに佐世保の町に帰ってくることができうれしいです。佐世保南高校でみなさんとともに自分も成長できるようがんばりたいと思います。

○松下 佳代（事務）先生

この度、波佐見高校から赴任してきました。生徒の皆さんや先生方の力になれるよう、一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いします。

○江代 光甫（事務）先生

この度、新規採用として事務主事として勤務することになりました。分からない事ばかりですが、皆様楽しく学校生活を謳歌できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

○萩原 聖一郎（事務）先生

新規採用として勤務することになりました。生徒の皆さんが過ごしやすい環境をつくります。よろしくお願いします。

新入生研修

新入生研修の様子を詳しく Web にて公開しています。右の QR コードを利用してアクセスしてください。



1年生224名は4月13日（月）と14日（火）、新入生研修に参加しました。南高生であることを自覚し、自ら主体的に行動する姿勢を身につけることを目的に、クラス活動（レクレーション）や集団行動、校歌・応援歌の学習などに取り組みました。各分掌主任による講話では、学習の進め方や進路選択、他者への思いやりについて学びました。研修の振り返りでは、「クラスメートの一人ひとりに大切な人がいるのでクラスメートを大切にしたい」、「一見マイナスな出来事もプラスの面に目を向けていきたい」、「将来の自分やこの先に出会う誰かのために目標を決めて学習をしていきたい」などの感想がありました。研修を通して、南高生としての心構えを身に付け、新しい生活をスタートさせることができました。休業期間も終え、気持ち新たに学習や部活動、人間関係づくりに取り組んでいきます。



上：グラウンドで全体研修を受けている新入生

下：学級内レクレーションにて楽しむ新入生

昨年度入試結果について

本校進路指導部から

令和2年3月に卒業した生徒の合格状況は、延べ人数で国公立大学66名、私立大学218名、準大学1名、短期大学9名、専門学校58名、就職4名でした。なお、主な合格先は、九州大学や長崎大学、長崎県立大学といった九州の国公立大学、同志社大学や、西南学院大学、福岡大学といった全国の私立大学などです（詳細は本校ホームページに掲載しています）。

今春卒業した生徒たちも、これまでの先輩たち同様、最後まで粘り強く受験に臨み、多くの生徒がそれぞれの進路を実現していききました。特に国立大学（前期試験）受験者の合格率が7割近くに上るなど、バランスのとれた学力を武器に合格を勝ち取ってくれました。

今年度の入試結果を分析し、その成果や反省点を踏まえながら教育活動を展開することで、在校生の進路実現のサポートに努めていきたいと思っています。

5月の主な予定

5月12日（火）～13日（水）検尿一次

20日（水）生徒総会

25日（月）～29日（金）高総体強化週間

25日（月）1年心電図

26日（火）・27日（水）検尿二次

※コロナウイルス感染拡大防止のため、急に変更になる場合がございます。